

## 11403電子機器用・通信機器用部品製造業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発 生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起 因 物 (小)	労 働 者 規 模
1	2020	1	9 ～ 10	電解コンデンサー用端子板製造ベーク板抜き工程で、ベーク廃材を移動させようと姿勢を曲げたときに、腰の痛みが発生し、急性腰部捻挫を負った。	42	19	521	50～ 99
2	2020	1	8 ～ 9	出社時、従業員駐車場から製造棟へ向かって歩いていたとき、ゴミ搬出中の社有フォークリフトと接触して転倒した。その際、背骨・骨盤・脚骨を折り、脳挫傷を負った。	42	6	222	300 ～ 499
3	2020	1	23 ～ 24	ホテル施設で、会食で飲酒した後、エレベータへ向かい歩行中、床に靴が引っ掛かり、つまずき転倒した。その際、左足首を脱臼骨折した。	60	2	417	50～ 99
4	2020	1	14 ～ 15	休憩に入り、トイレに行ったが、詰まっていた床が濡れていたため、左足を滑らせて、右腰辺りから転倒し、右足恥骨坐骨を折った。	36	2	417	50～ 99
5	2020	1	6 ～ 7	送迎バスに乗車し、座席に座っていたところ、Uターンをしようとしたバスに、後続の4tトラックに右側から衝突され、衝撃でガラスに体をぶつけて首と腰を打撲した。	24	17	231	1000 ～ 9999
6	2020	1	9 ～ 10	成膜装置のメンテナンス作業を約7年間行っていた。被災当日も、部品交換後ボルトを取り付ける作業中、右手中指から手首に掛けて痛みが生じ、腱鞘炎を負った。	40	90	911	1000 ～ 9999
7	2020	1	16 ～ 17	成形機で製造作業中、ホース（直径約5cm）につまずき前屈みに転倒し、左膝蓋骨を折り、左膝前十字靭帯損傷を負った。	41	2	417	100 ～ 299

8	2020	1	12 ～ 13	金型から製品を取り出すため、金型の分離作業中に慌てて力が入り過ぎ、分離した金型が落下しそうになったため、右手で受け止めた際、金型と作業台の間に右手小指を挟み挫創を負った。	23	7	379	300 ～ 499
9	2020	1	18 ～ 19	自宅に直帰中、赤信号で完全停止中、後続車に追突され外傷性頸部腰部症候群を負った。	25	17	231	1000 ～ 9999
10	2020	1	14 ～ 15	投入口で踏み台から降りる際、バランスを崩し転倒して、左側肋骨を折った。	63	1	371	100 ～ 299
11	2020	2	13 ～ 14	部品の清掃作業のため、部品の入った箱（縦20cm、横60cm、高さ10cm、重さ1kg）を両手で持ち、通行スペースが十分確保されていない狭い通路を移動していたところ、足下に置いてあった部品箱に右足が引っ掛かり、左膝から前方に倒れ、左膝皿を骨折した。	42	2	611	100 ～ 299
12	2020	2	15 ～ 16	ジャムプレスで作業中、プレス内に異物が見えたので除去するために、ジャムプレスを停止するボタンを押したが、完全に停止する前に指を入れて、右示指切断を負った。	47	7	154	30～ 49
13	2020	2	11 ～ 12	成形機のメンテナンス中、樹脂の配管が詰まったので取り除こうとしたところ、樹脂が噴き出して顔に掛かり、火傷を負った。	28	11	164	30～ 49
14	2020	2	14 ～ 15	最終検査の導通検査工程で、製品をチェッカー治具（下治具）に載せ、上治具を下降させた際、チェッカー治具のエリア内に置いていた左手親指を挟んで骨折した。	68	7	391	100 ～ 299
15	2020	2	12 ～ 13	足下のバランスを崩してよろけた際、自動半田槽半田付け部分に右手が入り、火傷を負った。	19	11	341	10～ 29
16	2020	3	10 ～	成形工場内で、床に置いてある原材料（約30kg）を移動しようと持ち上げたとき、急性腰痛症を発症した。	30	19	521	50～ 99

			11						
17	2020	3	10 ～ 11	製品入りマガジン（4マガジン×2ロット、1マガジン当たり19.6kg）を平台車で運搬し、平台車からコロコンに載せ替えていた。奥にあるロットを持ち上げようと手前に引き出し、腰を曲げて取っ手を引っ張ったとき、腰を捻挫した。	52	19	611	500 ～ 999	
18	2020	3	15 ～ 16	部材置場で段ボールを開梱し、確認のため緩衝材（プラスチック段ボール）を取り出す際、勢い余って緩衝材の角が左目に当たり、角膜損傷を負った。	37	3	529	500 ～ 999	
19	2020	4	6 ～ 7	電動工具を使って、鉄の箱状のケースに導体を収めるバスダクトの加工、組み立て、梱包業務を行っていた（重量物有）。その際、両手首に腱鞘炎および右（中・環・小）指にばね指、右肘上腕外側上顆炎を発症した。	44	19	169	100 ～ 299	
20	2020	4	8 ～ 9	塗装工場内で、吊っている品物のケレン作業中に品物がハンガーより外れ、高さ1.5m位のところから左腕に当たり打撲傷を負った。	23	4	224	50～ 99	
21	2020	4	17 ～ 18	10年間にわたって装置のメンテナンス作業に従事していた。被災当日も装置内に大型部品を取り付けるため、上半身を装置内に入れて、ネジ締め・パネル取付等を行っていたところ、首に痛みが生じ、ヘルニアと診断された。	44	19	911	1000 ～ 9999	
22	2020	4	12 ～ 13	休憩中、昼食をとるため自動車へ向かっていた際、駐車場の窪みで右足首をひねって骨折した。	42	19	417	1000 ～ 9999	
23	2020	5	14 ～ 15	会社の敷地内の草刈りを行っていたところ、3cm程度の段差に木があることに気付かず転倒し、右足踝、膝を骨折、脱臼した。	47	2	417	50～ 99	
24	2020	5	3 ～	完成品を製品棚に陳列していたとき、近くにいた他の作業員と接触した。その際、転倒はしなかったが、左足甲を踏まれて打撲傷	30	6	719	1000 ～	

			4	を負い、捻挫した。				9999
25	2020	5	0 ～ 1	台車付近に置いてあったペール缶がずれていたため、後ろ向きに左足で蹴って直した。その直後に歩き出したところ、左足にアース線が絡まっており、バランスを崩して転倒した。その際、印刷機に頭部をぶつけて裂傷を負い、むちうちを発症した。	54	2	417	500 ～ 999
26	2020	5	13 ～ 14	倉庫事務所へ業者を案内しているとき、場所を説明するために振り返った際、左足が台車に乗り上げ足を取られたために、もう片方の右足の膝を床に強打し骨折した。	63	2	362	30～ 49
27	2020	5	13 ～ 14	電子部品の組立工程で、トラブルが発生した際、本体を停止させず、素手で中の部品を触ったところ、動作したアームとの間に右手人差し指を挟み圧挫傷を負った。	46	7	169	100 ～ 299
28	2020	6	23 ～ 24	資材置場で、棚奥から屈んだ姿勢で資材（約10kg）を取り出そうとしたとき、腰に違和感があった。その後、製造ラインで清掃作業をしていたところ、腰に痛みが生じ、筋筋膜性腰痛症を発症した。なお、被災者は慢性的な腰痛を患っていた。	43	19	921	500 ～ 999
29	2020	6	14 ～ 15	流れ作業の組み立てラインで、次工程までの距離（約3m）を歩行しながら組み立て作業をしていた。原点位置まで戻るために移動する際、床につまずいて前方に転倒し、左肩を骨折した。	56	2	417	50～ 99
30	2020	6	2 ～ 3	建屋入口付近で、豪雨の中合羽を着用し自転車で移動中、車体が右に倒れ、右手をつき転倒を防ぎ、右手関節内を骨折した。	21	19	362	500 ～ 999
31	2020	6	8 ～ 9	事業所内で、忘れ物を取りに小走りで移動中、階段でつまずき前のめりに転倒しそうになり、両手をつき、左手首に打撲を負った。	59	2	413	50～ 99
32	2020	6	8 ～ 9	敷地内の駐輪場で、止めてあった自転車の引掛かり、転倒して、左腕と肋骨を折った。	54	2	362	500 ～ 999

33	2020	6	16 ～ 17	バーチカル1号ラインでチャッキング作業中、被災者が基板をチャッキングし、ハンガーに手を置いたとき、もう1名の作業者がフットスイッチを踏んでしまい、被災者の手がハンガーに挟まれて右手に挫創を負った。	26	7	169	30～ 49
34	2020	7	8 ～ 9	焼結炉（L6炉）の断熱蓋を固定していた金具が外れ、修理作業で炉の温度を降下し断熱蓋を修理するように作業員に引き継いだ。その際、炉内にアルゴンガスを充填していることを伝えたが、大気雰囲気に戻す作業を実施せず、酸欠状態の炉の中に入って窒息死した。	26	12	714	100 ～ 299
35	2020	7	8 ～ 9	焼結炉（L5炉）の断熱蓋を固定していた金具が外れ、修理作業で炉の温度を降下し断熱蓋を修理するように作業員に引き継いだ。その際、炉内にアルゴンガスを充填していることを伝えたが、大気雰囲気に戻す作業を実施せず、酸欠状態の炉の中に入って窒息死した。	50	12	714	100 ～ 299
36	2020	7	4 ～ 5	レイアップ室内のレイアップ装置で、機械を止めずにSUS板搬送コンベア用のモーターチェーンに注油しているとき、左手に持っていたウエスがチェーンに絡まり、左人差し指が巻き込まれて一部切断した。	39	7	121	100 ～ 299
37	2020	7	8 ～ 9	工場内南側チューブカッター作業エリアでナイロンチューブを連続して切断する作業をしていたところ、チューブが出力される手前にカッターが装備されており、この部分に左手親指を入れてしまい、爪の辺りにカッターが下降して左母指を不全切断した。	36	8	364	30～ 49
38	2020	7	14 ～ 15	商品化センターの事業場内で、展示機テレビのクリーニング作業中、ベースカートの上に置かれた書類とクリーニング用の布を、膝を曲げずに手だけで取ろうとした。その際、腰から背中に鋭い痛みを感じ、頸椎・胸椎・腰椎を捻挫した。	42	19	921	100 ～ 299
39	2020	7	12	昼休みに食事を取ろうとしたとき、薬を取りに行くため、階段を下りたところ、1段踏み間違えて、右足をひねった状態で着地し、	34	1	413	100 ～

			13	右足を捻挫した。				299
40	2020	7	10 ～ 11	工場内で、電子基板が入った段ボール箱（約10kg）を作業台に載せ、中の電子基板をアルミパックに入れて元に戻す作業をしていた。工場内は冷房（25度）を使用していたが、空調が届きにくかった。また、新型コロナウイルス対策でマスクを着用しており、水分補給も十分でなかったため、熱中症を発症した。	34	11	715	100 ～ 299
41	2020	7	10 ～ 11	工場原料工程で、ガス湯沸かし器の付いた流し台で、常温で固まったバインダーを溶かすため、ポリ容器に入れたものに重石を載せ、熱湯に沈めていた。その際、重石が熱湯の中に落ち、熱湯が飛散し、顔から上半身にかけてⅡ度熱傷を負い、結膜炎を起こした。	42	11	379	300 ～ 499
42	2020	8	13 ～ 14	職場で作業中、業務に必要な物を取るため立ちあがり、座ろうとしたところ、作業台にぶつかって転倒し、仙骨を折った。	56	3	419	50～ 99
43	2020	8	7 ～ 8	作業場で電動ドライバーを使用して作業中、手に力が入らなくなり、左手中指屈筋腱鞘炎、滑膜炎を発症した。	31	19	169	100 ～ 299
44	2020	8	10 ～ 11	工場内で機械の稼働中、収納部手前のエレベーター積載部で、塗布済みマガジン4枚のうち上段1枚を台車に移すため、手で取り出そうとした。その際、エレベーター積載部が上昇し、収納部天板とマガジンに左手全指が挟まれ、中指を骨折し、親指に裂傷を負い、爪甲剥離が起きた。	47	7	214	100 ～ 299
45	2020	8	16 ～ 17	焼成室で、セッターを台車から積載ステーションに移動する際に腰に違和感があったが、その後も勤務を続けた。後日、焼成済みの製品を炉から取り出す際、カゴの固定レバーを両手でロックしようとしたところ、胸部と腰部に椎間板ヘルニアを発症した。	26	19	611	100 ～ 299
46	2020	8	8	工場内で、製品と治具（幅50cm）を持ち歩行中、足下が見えず、台車につまずき、生産設備の角に左足を打ち、左第4、5中足骨を	54	7	362	500 ～

			9	折った。				999
47	2020	8	12 ～ 13	切断場で、アルミパイプの切断加工中、材料（パイプ1本重さ約0.5kg、長さ3500mm）を5から10本肩に担ぎ移動した際、腰椎椎間板症を発症した。	22	19	921	50～ 99
48	2020	8	11 ～ 12	高さ70cm（足場2段）の脚立を使って作業中、下りる際にバランスを崩して、床に落ちたとき右足関節外側靭帯損傷を負った。	26	1	371	100 ～ 299
49	2020	8	6 ～ 7	構外駐車場より会社へ歩行中、構内で意識を失い転倒し、路面で顔面、両腕等を打撲し裂傷を負った。	44	2	417	1000 ～ 9999
50	2020	8	12 ～ 13	成形作業場で、製品箱を床面から持ち上げて、運搬台車に積む作業で、十分に腰を下ろさずに中腰で製品箱を持ち上げ、上半身だけをひねって台車に積もうとして、腰部椎間板ヘルニアを負った。	35	19	611	500 ～ 999
51	2020	9	14 ～ 15	作業場で部材の取り付けを行う際、取り付け箇所が低い位置にあり、作業がしやすいように立ち膝姿勢になるため勢いよくしゃがんだとき、左膝を床に強く当てて左側膝関節蜂窩織炎を発症した。	23	3	417	100 ～ 299
52	2020	9	12 ～ 13	部品倉庫で、棚から約2m離れた所にある作業台へ、プリント基板の入った段ボール箱（20cm×15cm×30cm、約10kg）を持って移動する際、腰部を捻挫した。	43	19	921	100 ～ 299
53	2020	9	14 ～ 15	加工場で、ステンレス鋼シャフトをΦ10からΦ8×43mmへ加工する際、切り屑が繋がった状態で目の前に伸びてきた。左手で払った瞬間、切り屑が設備の回転に合わせて巻き取られ、左手人差し指に接触して切創を負った。	64	8	151	500 ～ 999
54	2020	9	9	靴箱エリアのカーペットを、カーペットクリーナー（コロコロ）で清掃中、ぎっくり腰になった。	37	19	911	1000 ～

			10						9999
55	2020	9	13 ～ 14	ゴミ保管場所へ両手にゴミを持って歩いていたところ、オープン付近で滑って転び、左手首と臀部に打撲を負った。	61	2	419	～ 499	
56	2020	9	15 ～ 16	コルゲート押出工程で、金型にカット玉が食い込んだため、2人で除去作業中、金型を逆転させようとしたところ、正転させて、ラジオペンチで押さえていた左手が金型に巻き込まれ、手の指に骨折、裂傷および打撲を負った。	57	7	169	100 ～ 299	
57	2020	10	8 ～ 9	ソルダー工程リードセットマシン作業中、動作不良が発生したため、安全カバー後方部より左手を入れ位置調整をしていたとき、左手をコンベア上の搬送シリンダーとカーボン治具の間に挟んで挫傷を負った。	55	7	169	30～ 49	
58	2020	10	12 ～ 13	工場内にてプレス機械での薄板鋼板のライナー抜き作業で、フットスイッチが作動しなかったが残り作業が少ないこともあり、終了後センサー点検を行うつもりで作業を続けた。ライナー素材が型に引っ掛かったため、引っ掛かり部を手で除去する際、フットスイッチに触れてプレス機に右手指を挟み、右環指挫減創、PIP関節脱臼、伸筋腱断裂を負った。	41	7	154	50～ 99	
59	2020	10	22 ～ 23	ディスクの研削工程で研削機下砥石の表面状態を確認するため、装置を停止させ装置に左足を掛けた際、滑って転倒しそうになり、咄嗟に飛散防止カバーを掴んだところ、カバーのつなぎ目にあった段差の角で右小指屈折腱断裂を負った。	45	8	153	10～ 29	
60	2020	10	13 ～ 14	機械加工職場内の治具クレーンと旋盤機械の間上部にある蛍光灯を交換しようとして、はしごをレースウェイに掛けた。はしごに乗って作業をしているときに、床面が滑り、はしごと一緒に落下し、背骨圧迫骨折を負った。	68	1	371	50～ 99	
61	2020	10	8	出勤後、着替えをするため更衣室へ向かって歩いていたところ、更衣室入口前の廊下でつまずいて転倒した。その際、両手に私物	56	2	417	100 ～	

			9	の鞆を持っており、右膝を強打して骨にひびが入った。				299
62	2020	10	11 ～ 12	施設内で、裁断機で用紙をカット作業中、切れ味が悪く、踵を上げ、全体重を掛けた際、左肋骨を折った。	50	19	921	300 ～ 499
63	2020	10	11 ～ 12	工場で、作業者と口論になり、体を押してきたため、払いのけた際、体勢が崩れ、背中から転倒して、左膝蓋骨を折った。	52	2	921	100 ～ 299
64	2020	11	10 ～ 11	クリーンルームでボルト状態の確認作業中、ピッキングリフターから手を伸ばしたところぎっくり腰を発症した。	32	19	921	30～ 49
65	2020	11	14 ～ 15	プリント基板の検査工程で、基板が300枚入った収納箱を両手で持ち上げ、3段目に積もうとしたところ、背中を反りすぎて腰椎を捻挫した。	48	19	921	100 ～ 299
66	2020	11	22 ～ 23	NSL検査室で、E706 LCDパネル受入検査で、検査台へ移動する際、場所が狭く、右足がパレットにつまずき、転倒しそうな勢いで、パレット上面の穴あき部分に左足が挟まり、左足首が固定された状態で左方向へ振られたため、左膝外側をひねり、左膝外側半月板損傷を負った。	22	19	379	50～ 99
67	2020	12	19 ～ 20	夜勤のため、会社駐車場に車を止めて降りた一歩目で滑って（凍っていた）転倒し、右手首を骨折した。	32	2	719	500 ～ 999
68	2020	12	5 ～ 6	施設内で、階段を上る際、足を踏み外し、地面に右腕をつき転倒した。その際、右上腕を骨折した。	45	2	413	50～ 99
69	2020	12	8 ～ 9	装置定期メンテナンス作業中、可搬式の踏み台（高さ31cm）に乗り、踏み台の脚が配管開口部に入り、バランスを崩し、装置フレームに左足を強打した。このとき、左膝外側側副靭帯損傷、左	47	3	379	1000 ～ 9999

				膝前十字靭帯断裂を負った。				
70	2020	12	5 ～ 6	装置裏の踏台（49cm）で、左足から降りる際、足首をひねり、バランスを崩して転倒した際、頭部（右眉上部）をぶつけ、左足首を捻挫した。	49	2	416	500 ～ 999
71	2020	12	10 ～ 11	クリーンルーム前室の壁を清掃中、床板が1枚開いているところ（60cm四方、深さ約50cm）に落ちて、右足関節を捻挫した。	54	1	414	50～ 99
72	2020	12	6 ～ 7	工場内で、椅子に座って袋詰め作業中、物を取るためその場で立ち上がり、また座ろうとしたところ、キャスター付きの椅子が移動していたため、尻もちをつき、腰椎捻挫を負った。	33	1	379	1000 ～ 9999

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。